令和７年度　薩摩川内市立川内中央中学校　学校経営グランドデザイン

○ 教育関係法令
○ 県・地区・市の教育施策
○ 国・県・市教育振興基本計画
○ 市「魅力ある学校づくり」プロジェクト

○ 生徒・家庭・地域・学校の実態
○ 保護者・地域・教職員の願い
○ 校区学校運営協議会

【学校教育目標】
主体的に考動し，心豊かでたくましい生徒の育成

【校　訓】　自　主　　友　愛　　好　学

感動する心　　思いやりの心　　感謝する心　　耐える心

【生徒会スローガン（キャッチフレーズ）】
「彩」　～　みんなで彩る中央キャンバス　～

P

めざす生徒像		
礼節を重んじ，自ら正しく考え，行動する生徒	互いに切磋琢磨し，自他を大切にする生徒	目標をもち，粘り強く学び続ける生徒

A

めざす学校像	
○生徒一人一人の夢を形づくる活気あふれる学校	○生徒一人一人に活躍の場や居場所がある学校
○規律と秩序を重んじ，安心・安全で整備された学校	○保護者や地域に愛され，信頼される開かれた学校

めざす教師像	
○使命感と職責感にあふれ，生徒とともにある教師	○「チーム」力にあふれ，資質を高めあう教師
○仕事にやりがいをもち，積極的に経営に参画する教師	○生徒や保護者，地域から信頼される教師

A

D

生徒指導等

○凡事徹底（あいさつ・時間・整理整頓）
○自己肯定感や自己効力感の高揚(一人一役など)
○小さな違和感の重視(日常の観察，各種アンケートの確認)
○生徒会活動の充実(活躍の場の拡大，自治的活動の推進)
○危機意識の高揚・環境整備・感染症・熱中症対策の徹底
○組織体制の整備(生徒指導委員会・心の教育委員会)

学習指導等

○学業指導の徹底（１分前着席・黙想）
○授業改善の推進(学習者主体の授業，個別最適・協働的な学び)
○共通実践事項の推進(「書く活動」，振り返り，話合い活動)
○諸検査の分析結果に基づいた指導法の工夫
○全国学調・鹿学調への対応（定期テストのＣＢＴ化）○学習ＤＸの推進
○キャリア教育の充実
○組織体制の整備（学力向上対策委員会）

学校運営協議会等連携

○地域貢献活動の推進(学校運営協議会,地区コミュニティ協議会等)
○様々な媒体を活用した積極的な広報活動(ブログ・各種通信等)
○保護者との信頼関係の構築(保護者アンケートの有効活用)
○保護者への啓発活動の推進（虫歯治療，ＳＮＳの対応）
○各関係機関との迅速かつ積極的な連携(SSW,SC,北部児相,警察など)

小中一貫教育

○クローバー部会の推進(学力向上・生徒指導・特別支援教育・キャリア教育)
○生徒指導に関する連携推進(生徒指導主任・心の教室担当を窓口とした連携)
○各種資料の交流による相互理解(教育課程・教科書・校則等)
○「ふるさとコミュニケーション科」を中心とした交流活動の推進
○職員同士の交流活動の検討(効果と効率の両立を図る取組の推進)

資質向上・業務改善

○自己研鑽の推進（Ｐｌａｎｔの活用等）
○校内研修の充実(共通実践事項を視点とした取組等)
○校務におけるチームとしての取組推進(早期立案，役割分担)
○業務の効率化を図る取組推進(校務ＤＸの推進，ペーパーレス化等)
○超過勤務の改善(「リフレッシュデー」の完全実施等)
○保護者・地域の理解を促す周知活動の徹底

C

○「学校生活が楽しい」生徒の割合：95％以上　○「授業が分かる」生徒の割合：80％以上
○各種学力調査結果：県平均以上　○授業での「振り返り」実施率及びタブレット活用率：100％
○諸検査分析結果の活用率：100％ ○１分前着席：100％ ○虫歯治療率：70％以上 ○「報・連・相」：100％
○ICTの日常的活用率：100％ ○校外研修等への出席：一人１回以上 ○学級ＰＴＡの保護者出席率：70％以上
○「リフレッシュデー」達成率：100％ ○各種会議時間：40分以内 ○用紙消費率：前年度比30％減

＜学校運営協議会＞
○学校関係者評価

＜小中一貫教育目標＞
「川内中央中学校区らしい
魅力ある小中一貫教育の推進」
～『四つ葉のクローバープロジェクト』
による教育実践を通して～

人　権　尊　重　の　精　神